

『小学算数』5年 年間指導計画（略案）[平成31年度移行期]

年間指導時数：151時間 予備時間：24時間（標準時数：175時間）

【上巻】 年間指導時数：76時間 予備時間：9時間

月	3学期制	2学期制	単元	指導時数	指導内容	用語・記号	領域	
4月 (15時間)	1学期	前期	1 整数と小数のしくみ 数のしくみを調べよう P. 10～14	4	小数を10倍、100倍、 $1/10$ 、 $1/100$ にした数と 小数点の移動 十進位取り記数法のまとめ		A	
			2 図形の合同と角 重なる形と図形の角を調べよう P. 16～31	11	図形の合同の意味（定義）、性質、作図 三角形の3つの角の大きさの和 多角形（四角形、五角形、六角形、七角形など） の内角の和	合同 対応する頂点 対応する辺 対応する角 多角形	B ・ C	
3 体積 直方体や立方体のかさを表そう P. 34～47			11	体積の意味 体積の単位 cm^3 、 m^3 とその相互関係、既習の単位との関係 直方体、立方体の体積の求め方、求積公式 複雑な形の体積 入れものにはいるかさ（容積）	体積 立方センチメートル cm^3 立方メートル、 m^3 内り、容積	B ・ D		
4 比例 ともなって変わる2量の関係を調べよう P. 48～50			2	比例の関係と意味	比例	D		
5 小数のかけ算 小数をかける計算のしかたを考えよう P. 54～67			13	小数をかける意味と計算の仕方 (整数)×(小数)、(小数)×(小数)の計算と 筆算形式(乗数、被乗数が小数第二位まで) 乗数の大きさと積の大小関係 辺の長さが小数の場合でも、求積公式が 用いられること 交換法則、結合法則、分配法則(小数)		A		
6 小数のわり算 小数でわる計算のしかたを考えよう P. 70～83			13	小数でわる意味と計算の仕方 (整数)÷(小数)、(小数)÷(小数)の計算と 筆算形式 わり切れる場合、わり切れない場合(わり進む、 商と余りを求める、商を概数で求める) 除数の大きさと商の大小関係 小数倍の三用法		A		
7月 (10時間)			どんな計算になるか考えよう P. 85	1	小数の乗法・除法の演算決定		A ・ D	
9月 (15時間)			2学期	7 整数の性質 整数の性質を調べよう P. 88～99	9	偶数、奇数の意味とその分け方 倍数、公倍数、最小公倍数の意味とその求め方 約数、公約数、最大公約数の意味とその求め方	偶数、奇数 倍数、公倍数 最小公倍数 約数、公約数 最大公約数	A
				8 分数のたし算とひき算 分数の計算のしかたを考えよう P. 102～113	11	等しい大きさの分数 約分の意味とその仕方 分数の大小関係、通分の意味とその仕方 異分母分数の加法、減法(帯分数含む)	約分 通分	A
				活用 P. 114～115	1	日常の場面で、整数の性質、体積を活用する		
10月 (5時間)								

【下巻】 年間指導時数：78時間 予備時間：12時間

月	3学期制	2学期制	単元	指導時数	指導内容	用語・記号	領域
10月 (15時間)	2学期		9 図形の面積 面積の求め方を考えよう P. 4～23	12	平行四辺形, 三角形, 台形, ひし形の面積の求め方と公式	底辺, 高さ 上底, 下底	B ・ D
11月 (20時間)			10 平均 ならした大きさを表そう P. 26～33	5	平均の意味とその求め方 平均の利用	平均	B
			11 単位量あたりの大きさ こみぐあいなどの比べ方を考えよう P. 36～43 補助教材	15	単位量あたりの考え方 こみぐあい, 人口密度, とれ高 単位量あたりの大きさの利用 速さの意味, 表し方, 求め方 仕事量	人口密度 時速 分速 秒速	B
12月 (10時間)			12 分数と小数, 整数 分数と小数, 整数の関係を調べよう P. 44～51	6	(整数)÷(整数)の商を分数で表す 分数倍 分数と小数, 整数の相互関係		
1月 (15時間)	3学期	後期	13 □や△を使った式 数量の関係を式に表そう P. 52～55 ※指導時期変更	3	ともなって変わる2量の関係(差が一定, 商が一定)		D
			14 割合とグラフ 比べ方を考えてグラフに表そう P. 58～77	17	割合の意味とその求め方 (割合)=(くらべる量)÷(もとにする量) 百分率, 歩合の意味と表し方 割合を使う問題 帯グラフ, 円グラフの意味, よみ方, 表し方	割合 パーセント % 百分率 割, 歩合 帯グラフ 円グラフ	D
2月 (20時間)			15 正多角形と円 円をくわしく調べよう P. 80～93 ※「16 分数のかけ算とわり算」は指導しない	10	折り紙で正多角形をつくる 正多角形の意味 円を使った正多角形の作図 円周, 円周率(3.14)の意味 円周の求め方, 公式	円周 円周率	C ・ D
3月 (10時間)			17 角柱と円柱 柱の形を調べよう P. 106～113	6	角柱, 円柱の意味と基本的性質, 構成要素, 見取図, 展開図	立体, 角柱, 円柱 底面, 側面	C
	活用 P. 114～115	1	表の読み取りや体積を活用する				
			5年のまとめ P. 116～118	3	5年の学習内容の総復習		

※移行措置により、「11 単位量あたりの大きさ」で速さを扱うことに伴い、「13 □や△を使った式」の指導時期を12月から1月に変更しています。

※「16 分数のかけ算とわり算」は、移行措置により学習しないため取り扱いません。